

KDrasterコンバート RS3PST(L)

ラスター/PDF(PostScript)変換プログラム(長尺対応)



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>



・製品概要：

- ・ コマンドラインから入出力ファイル名を入力する事で実行されます。(標準入出力が利用可能)
- ・ ラスターファイルを読み込み PostScript, PDF ファイルへ変換を行います。
- ・ マルチページの指定ページを変換
- ・ 複数イメージの合成(マージ)処理
- ・ イメージファイルを変換して、既存の出力ファイルの後ろに追加
- ・ マルチページファイルを分割して出力
- ・ 出力 PDF 文書を暗号化します。
- ・ 出力 PDF 文書に任意のファイルを添付します。
- ・ 出力 PDF 文書にしおりを作成します。
- ・ 拡大・縮小(スケーリング)、回転、クリッピングやオフセットなどの変換処理
- ・ 入力データの大きさのまま、もしくは A 系列 (A4, A3, ...) の大きさで PDF 文書に変換する事が可能です。
- ・ 入力データをデータの用紙サイズ毎に仕分け
- ・ モノクロ、カラーについての画像設定
- ・ バッチファイルで指定されたファイルまたはディレクトリ内のファイルを一括処理します。

・読み込み可能なラスターデータは次のとおりです。

BMP, CALSG4, CCRF, EDMICS, EXIF, FAX, FORMTEK, FX_RASTER, GIF, GTX_G4, IOCA, IBM_MMR, JPEG, MIEL, MMR, MR, MH, NSXPRESS, PBM, PCX, PGM, PNG, PPM, SUN_RASTER, TIFF, TOSFILE, WBMP, XBITMAP, XWD

・出力可能なフォーマット

・ PostScript	レベル 1, レベル 2, レベル 2 (G4), EPSF, Acrobat 用 PostScript
・ PDF	1.4, 1.5, 1.6, 1.7, 1.7EX3

・動作環境：

- ・ UNIX 版 : Solaris9 以降 (SPARC)、HP-UX11i V2 以降、AIX6.1 以降
- ・ LINUX 版 : x86 系
- ・ Windows 版 : XP, Vista, 7, 8, 8.1, 10, Server 2003, Server 2008, Server 2008 R2, Server 2012, Server 2012 R2, Server 2016

・価格(税抜き)：

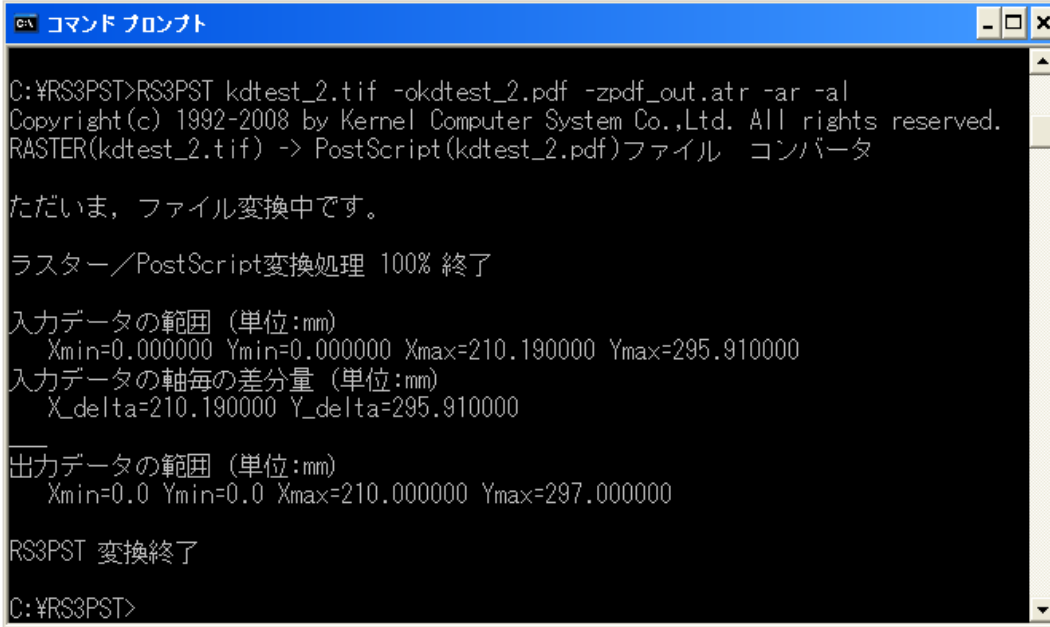
RS3PST : 20 万円
RS3PSTL : 25 万円

1. 基本操作

RS3PST は、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込む事が出来ます。
変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインを入力します。

```
RS3PST [入力ファイル名] -O[出力ファイル名] -[各オプション]
```

・変換実行例：



```
C:\¥RS3PST>RS3PST kdtest_2.tif -okdtest_2.pdf -zpdf_out.atr -ar -al
Copyright(c) 1992-2008 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.
RASTER(kdtest_2.tif) -> PostScript(kdtest_2.pdf)ファイル コンバータ

ただいま、ファイル変換中です。

ラスタ-PostScript変換処理 100% 終了

入力データの範囲 (単位:mm)
  Xmin=0.000000 Ymin=0.000000 Xmax=210.190000 Ymax=295.910000
入力データの軸毎の差分量 (単位:mm)
  X_delta=210.190000 Y_delta=295.910000

出力データの範囲 (単位:mm)
  Xmin=0.0 Ymin=0.0 Xmax=210.000000 Ymax=297.000000

RS3PST 変換終了
C:\¥RS3PST>
```

2. オプションについて

RS3PST には、変換時に指定できる様々なオプションが用意されています。
それらの変換オプションはラスターデータを PostScript/PDF へ変換する際に、様々な変換機能が利用できます。

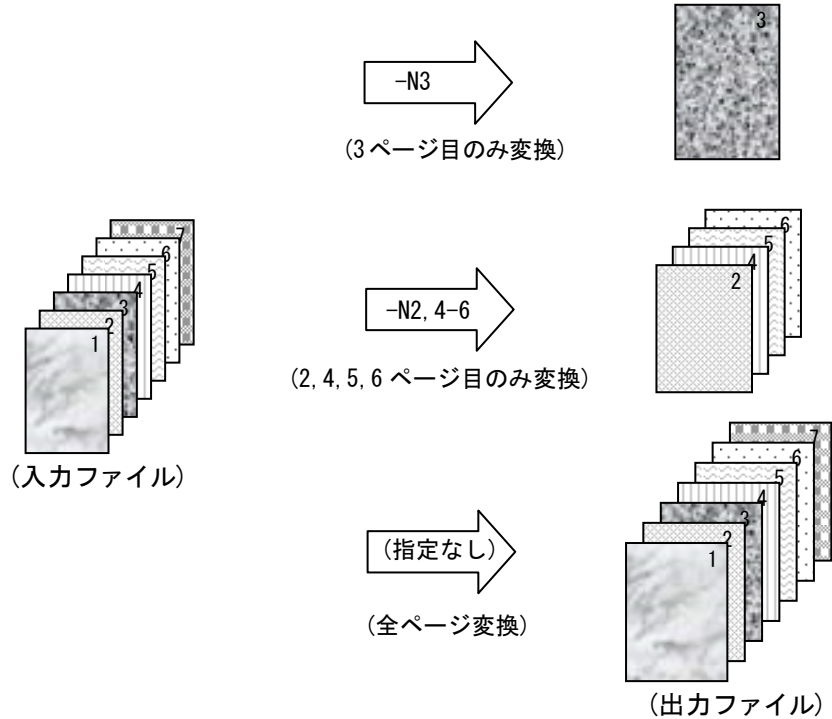
変換オプションの概要：

<ファイルに関するもの>

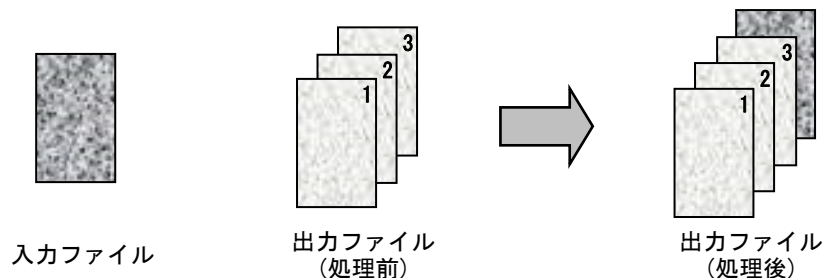
- ・ 出力ファイル名や入出力属性ファイル名を指定します。

<マルチページ処理に関するもの>

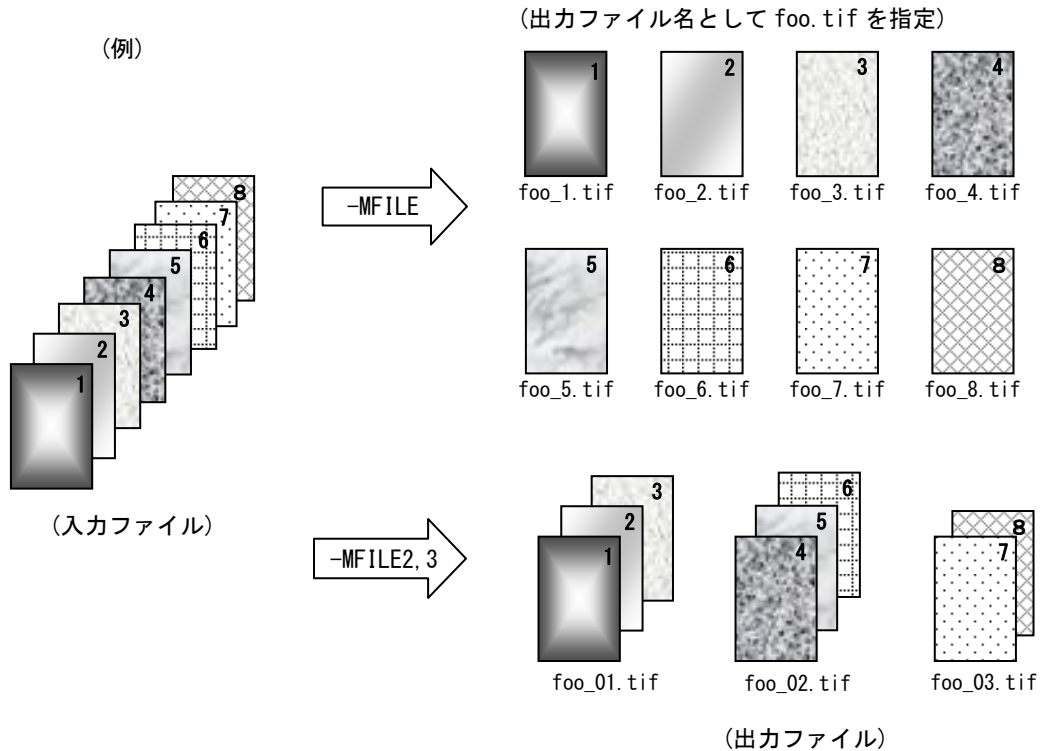
- ・ 入力がマルチページファイルの場合、処理するページを指定します。
(例)



- ・ 既存の PostScript/PDF ファイルと連結(合成)します。
既存のファイルの名前を出力ファイル名として指定すると、出力ファイルの最後に新しいページとして入力ファイルを追加します。
(例)



- マルチページのイメージファイルを指定されたページ数で分割して PostScript/PDF へ変換します。分割出力する場合、各出力ファイル名は指定した出力ファイル名に番号を付加したものになります。



<用紙の指定に関するもの>

- 指定された用紙サイズにスケールで拡大・縮小します。
- 用紙の中央に置いて変換します。(センタリング)
- 図面の大きさによって自動的に用紙サイズを選択します。
- 用紙方向をデータ入力方向(横図面/縦図面)に合わせます。(デフォルトは縦)
- 図面方向を回転します。

<画像処理に関するもの>

- 入力イメージの形式にかかわらず、2 値(白/黒)で出力します。
- カラーの入力データを 2 値形式で出力する場合の品質調整は、入力属性パラメータ(誤差拡散, ディザー等)で指定できます。
- 入力イメージの形式にかかわらず、256 階調のグレースケールで出力します。
- 入力イメージの形式にかかわらず、24 ビット RGB フルカラーで出力します。
- 入力イメージの形式にかかわらず、8 ビットインデックスカラーで出力します。
- ※上記のオプションを指定しない場合は入力ファイルにできるだけ近い形式で出力されます。
- すべての色の RGB 値を反転します。

<PDF ファイルに関するもの>

- PDF ファイルのしおり情報を出力します。
- PDF ファイルにしおりを追加します。
- PDF データを Web 表示用に最適化します。

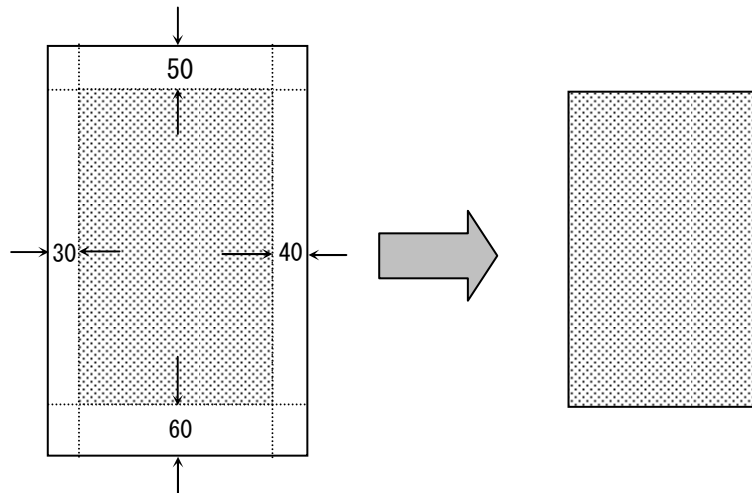
<スケーリング処理等に関するもの>

- ・ 指定した出力サイズに収まるような最大サイズに、縦横比を維持してスケーリングします。
- ・ 指定した出力サイズより大きい場合のみ、そのサイズに収まるように縮小します。
- ・ 出力水平方向のドット数を指定します。
- ・ 出力垂直方向のドット数を指定します。
- ・ 出力水平方向の長さを、1/100mm 単位の値 (mm 単位の値を 100 倍したもの) で指定します。
- ・ 出力垂直方向の長さを、1/100mm 単位の値 (mm 単位の値を 100 倍したもの) で指定します。
- ・ 水平方向のスケール値を指定します。水平方向のスケーリング処理が行われます。
- ・ 垂直方向のスケール値を指定します。垂直方向のスケーリング処理が行われます。

<編集処理に関するもの>

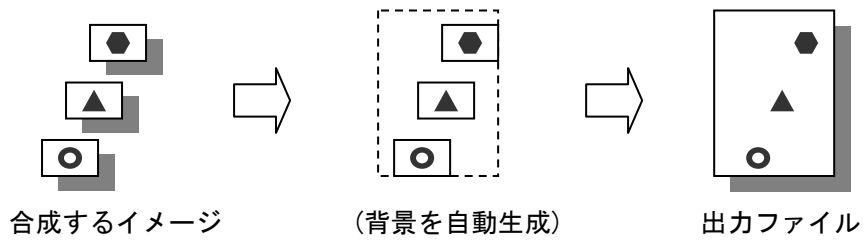
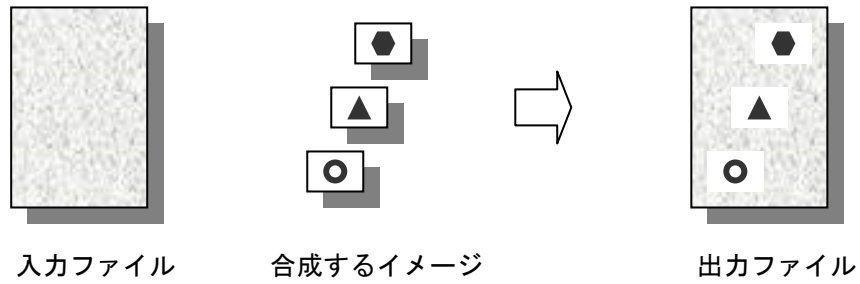
- ・ イメージデータの回転 (90、180、270 度回転可能)
- ・ 出力解像度を指定します。イメージの大きさを変えずに解像度のみ変更します。
- ・ 入力データより小さい解像度を指定した場合、出力データサイズを減らす効果があります。
- ・ イメージをクリッピングします。

(例) 左 30pixel, 右 40pixel, 上 50pixel, 下 60pixel を切り落とす場合



<複数イメージの合成に関するもの>

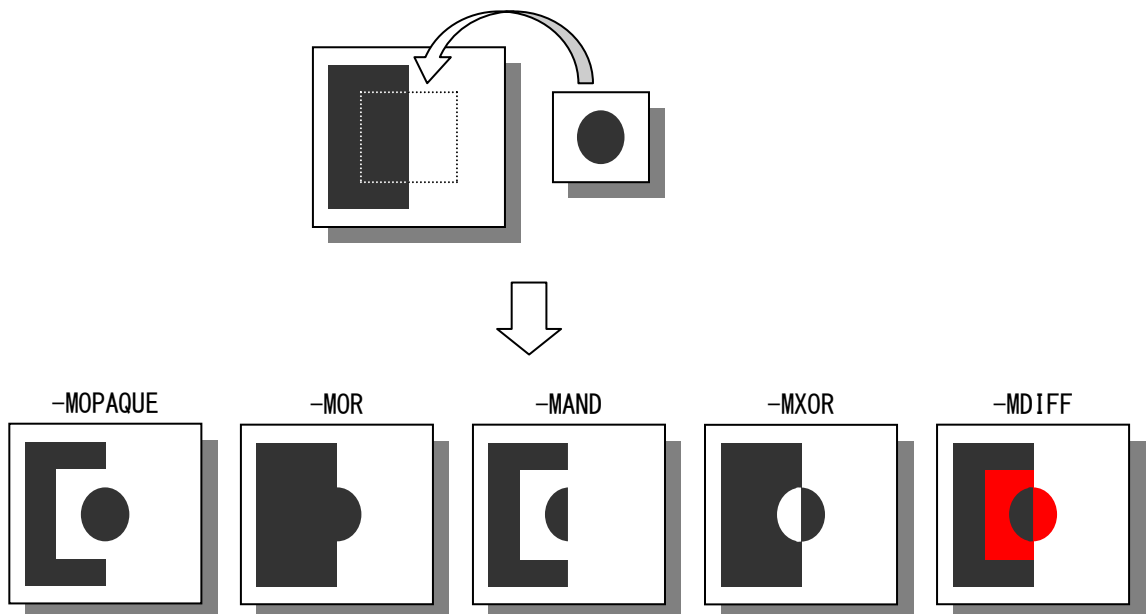
- ・ 複数イメージの合成処理を行います。



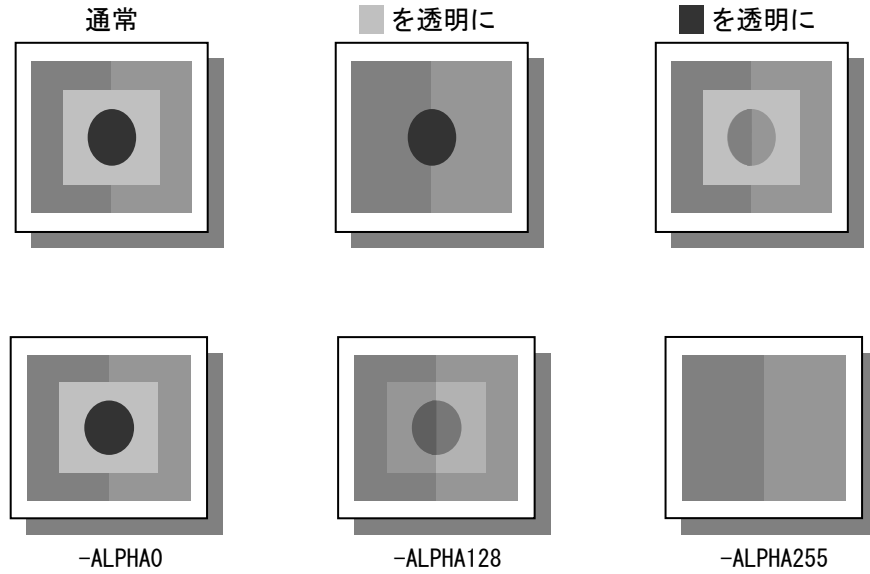
イメージの合成方法としては、下記の5種類があります。

- ① 上書きで合成します。
 - ② 色の濃いほうを優先して合成します。
 - ③ 色の薄いほうを優先して合成します。
 - ④ 色の差分を合成後の色とします。同じ色の部分は白になります。
 - ⑤ 同じ色の部分はそのまま、色が重なっている部分だけを赤で表示します。
- このオプションは通常2つのイメージの差分を調べるために使います。

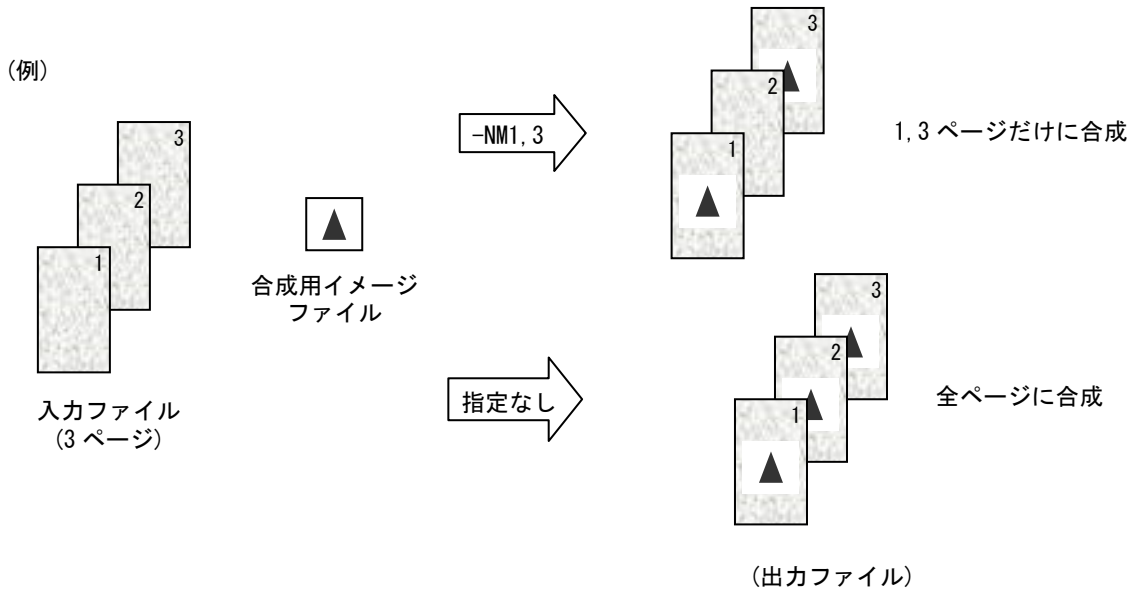
(例)



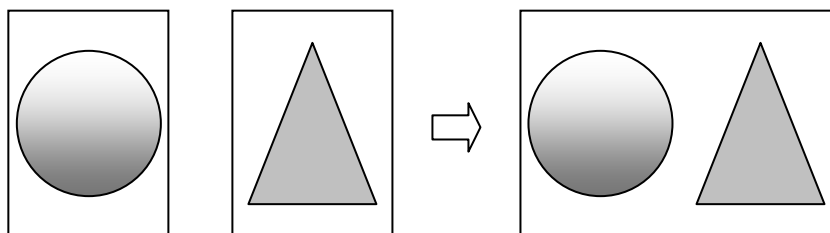
- ・ イメージの合成には、透明色や半透明にして合成を指定する事が可能です。



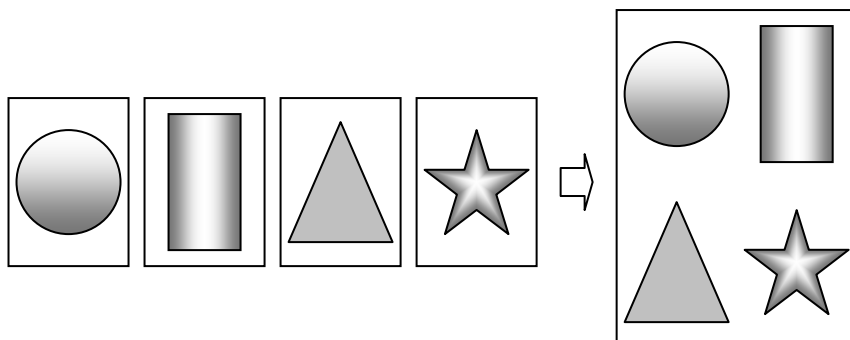
- ・ 合成処理での合成先のページを指定します。



- ・ 合成位置原点と基準点の指定
- ・ 合成指示ファイルに指定されたファイルの各ページを 2 ページずつ組み合わせて、それぞれ 1 ページに合成する事が出来ます。
- ・ ページを並べる順番は「左 → 右」または「上 → 下」のいずれかになりますが、どちらになるかはイメージの形などによって自動的に決まります。



- ・ 合成指示ファイルに指定されたファイルの各ページを4ページずつ組み合わせて、それぞれ1ページに合成する事が出来ます。
- ・ ページを並べる順番は「左上 → 右上 → 左下 → 右下」になります。



<バッチ処理に関するもの>

- ・ バッチファイルを使って、複数ファイルを一括処理する事が出来ます。

3. 属性ファイルについて

属性データ変換パラメータファイルは入力用と出力用があります。
これらの変換パラメータ内容を変更する事で種々な変換が可能となります。

入力属性パラメータファイルの概要：

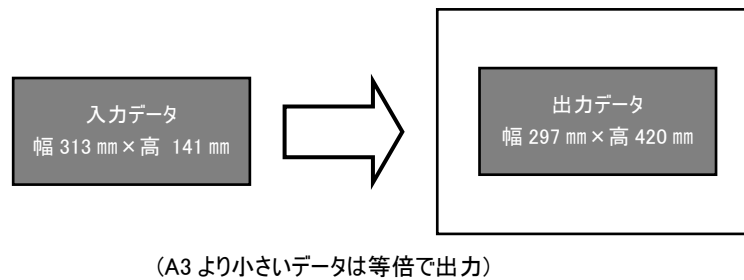
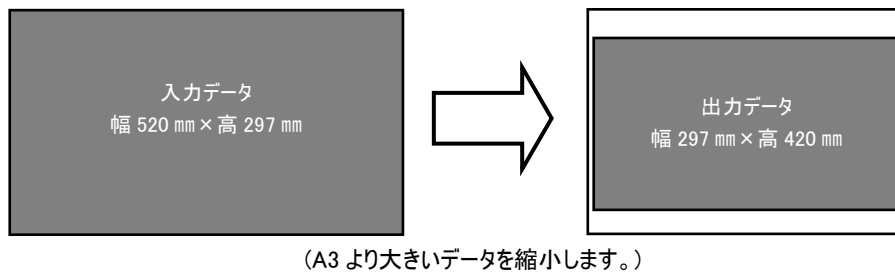
- ・入力フォーマットの指定
- ・入力解像度の指定、X、Y方向の入力解像度は別々に指定する事も可能
- ・X、Y方向についての倍率を指定(拡大・縮小)
- ・2値イメージのスケーリング処理方法を指定
- ・カラーイメージのスケーリング処理方法を指定
- ・イメージの左右方向や上下方向の配置位置の設定
- ・クリッピングを指定(左・右・上・下)
- ・イメージの色の反転を指定
- ・カラーイメージの白と黒の部分だけを反転(「黒」の判定基準と「白」の判定基準を設定)
- ・減色処理の方法を指定
- ・差分表示の色を指定

出力属性パラメータファイルの概要：

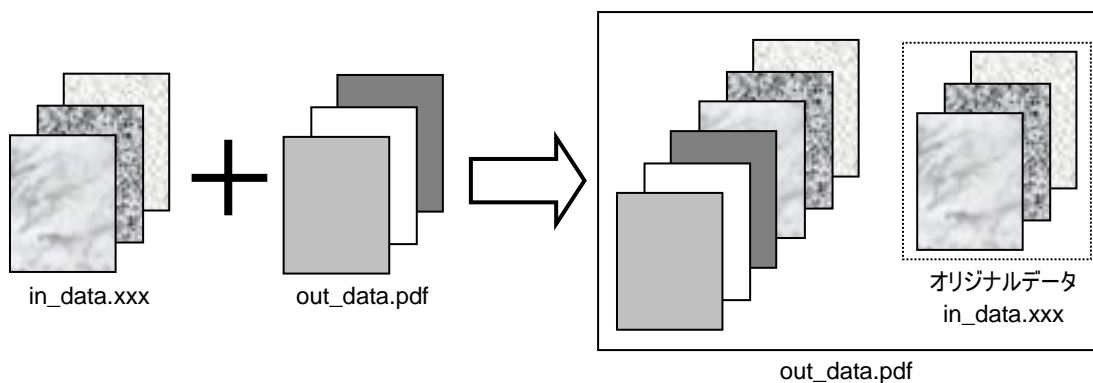
- ・出力データフォーマットを指定します。
- ・用紙マージンを設定します。(単位：X. X mm)
- ・PostScript 出力のデータ形式(ASCII またはバイナリ)を指定します。
- ・出力カラーをRGB から CMYK に変更するかを指定します。
- ・入力データの大きさに合わせて用紙排出時、用紙トレイを選択するコマンドを設定します。
(注) -AP オプションが設定されて場合のみ有効です。
- ・出力データのフォントコードを指定します。
- ・A 系列(A4, A3, …)の大きさに出力するか、または入力データの大きさに出力するかを指定します。
- ・PostScript(PDF) ファイルのプロパティ情報(タイトルや作成者など)を定義します。
- ・カラーのイメージをPDFへ変換した時のPDFファイルの圧縮形式を指定します。
- ・作成したPDFファイルにセキュリティ(パスワードやセキュリティの権限)を設定します。
- ・入力データをデータの用紙サイズ毎に仕分けをします。
- ・オリジナルデータをPDFファイルに添付します(埋め込む)。(添付ファイルの個数は最大99個となります。)

4. 変換例

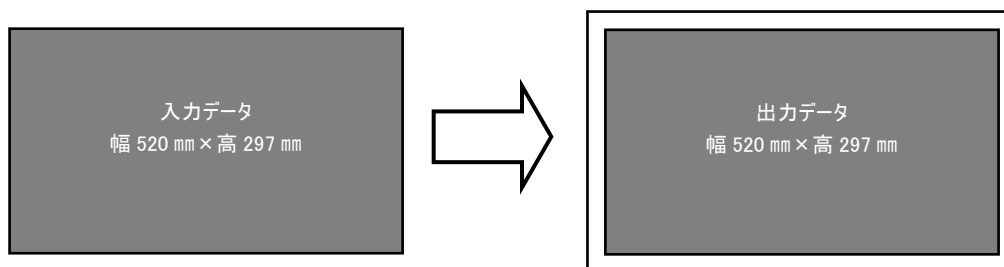
例 1： 出力サイズを A3 に指定して、A3 より大きいデータは A3 まで縮小して、A3 より小さいデータはそのまま、余白は 10 mm で、用紙方向をデータ入力方向に合わせ、出力データを用紙の中央に置きます。入力データが A4 より小さい場合、A4 で出力されます。



例 2： 出力ファイルの最後のページに追加した後、オリジナルデータを添付して出力します。



例 3： 入力データの図面サイズのままで、XX ミリの余白を付けて出力します。



5. 長尺データの変換について (RS3PSTL のみ)

長尺データを PDF 変換する時、用紙サイズ毎にスケールリング、回転や余白付けを行う事が出来ます。スケールリングタイプは下記の 3 種類を提供しています。

1. 用紙のスケールリング処理、回転処理を行いません。
2. 用紙のスケールリング処理、回転処理を行います。
3. 用紙のスケールリング処理は行わず、回転のみ行います。

長尺の判定基準としては下記の二種類を提供しています。

1. 長軸側が A0 横サイズ (1189mm) 以上の時に長尺用紙とします。
2. 短軸側の長さに対する長軸側が所定用紙を超えた時に長尺とします。

A 系サイズの入力データ毎に対して、出力用紙の横長と縦長を指定する事が可能です。

データを変換する際に、用紙サイズ毎に回転を指定する事が可能です。(PDF 出力する場合のみ) 回転方法の指定は二つあります。

1. 回転角度 (0, 90, 180, 270) で指定します。
2. 入力データの向きによって指定します。
横向きのみは左/右 90 度回転、または縦向きのみは左/右 90 度回転します。

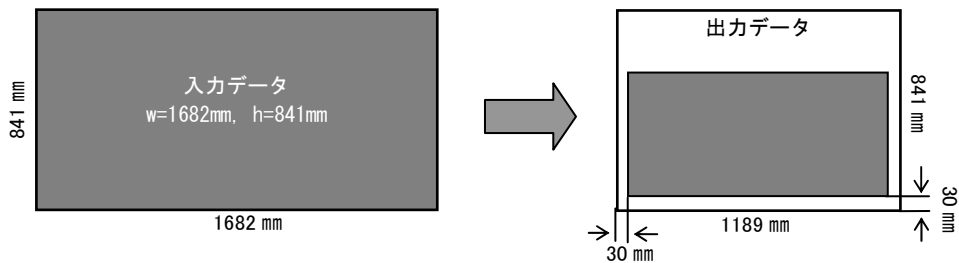
出力余白を指定

出力データの用紙の余白を指定する事が出来ます。

変換例 : A0 長尺データ (幅 = 1682 ミリ、高 = 841 ミリ) を以下の設定によって変換した場合、図のような結果が出力されます。

設定例)

- ・ 用紙サイズ毎にスケールリングします。
- ・ 長尺用紙の判定フラグを 0 にします。
- ・ A0 長尺サイズの入力データに対して、出力サイズは 1189mm×841 mm に指定します。
- ・ 回転処理をしません。
- ・ 出力データに 30 ミリの余白を付けます。



6. 機能拡張製品一覧

製品名	拡張機能	価格(税別)
RS3PST_OCR	OCR 機能追加版	35 万円
RSTX3PST	テキスト合成機能追加版	35 万円
RSTX3PST_OCR	テキスト合成+OCR 機能追加版	40 万円
RSBAR3PST	バーコード+テキスト合成機能追加版	40 万円
RSBAR3PST_OCR	バーコード(テキスト)合成+OCR 機能追加版	45 万円
RSHP3PST	スタンプ(HP-GL)+テキスト合成機能追加版	40 万円
RSH23PST	スタンプ(HP-GL/2)+テキスト合成機能追加版	
RSDWG3PST	スタンプ(DWG)+テキスト合成機能追加版	
RSDXF3PST	スタンプ(DXF)+テキスト合成機能追加版	
RSGB3PST	スタンプ(GERBER)+テキスト合成機能追加版	
RSDF3PST	比較機能追加版	30 万円
RSDV3PST	ラスタ一分割機能追加版	40 万円